

|      |   |   |                         |                       |
|------|---|---|-------------------------|-----------------------|
| NO 1 | 名駅四丁目10番地区省CO2先導事業  |   | 東和不動産株式会社<br>DHC名古屋株式会社 |                       |
| 提案概要 | 名古屋駅前の地域冷暖房地区における熱需要家の建替プロジェクト。建物単体の省CO2化だけではなく、既存インフラを活用して、需要家と熱供給会社をスマートに連携させることにより、需要家だけではなく街区全体のエネルギー利用効率を高め、省CO2化、節電及び地域活動継続計画(DCP)の向上を図る。 |   |                         |                       |
| 事業概要 | 部門  | 新築  | 建物種別                    | 建築物(非住宅・一般部門)         |
|      | 建物名称  | 名駅四丁目10番地区ビル(A敷地)、<br>歩行者用地上地下ネットワーク通路(B敷地) | 所在地                     | 愛知県名古屋市               |
|      | 用途  | 事務所、飲食店、集会所、ホテル、その他                         | 延床面積                    | 49,800 m <sup>2</sup> |
|      | 設計者   | 株式会社日建設計                                    | 施工者                     | 未定                    |
|      | 事業期間  | 平成24年度～平成28年度                               |                         |                       |

**概評**  
大都市の既存地域冷暖房地区内に立地する大規模ビル建替事業において、熱供給インフラのエネルギー効率を高めつつ、地域活動継続計画(DCP)に貢献するシステムを構築している点に先導性が認められ、類似プロジェクトを抱える大都市への波及に期待した。また、当該ビルにおいても多様な省CO2技術や関係者と連携した省CO2マネジメントなどを導入しており、地域全体の省CO2推進につながる取り組みとして評価した。

参考図



図1 既存市街地再生型スマートエネルギーネットワーク

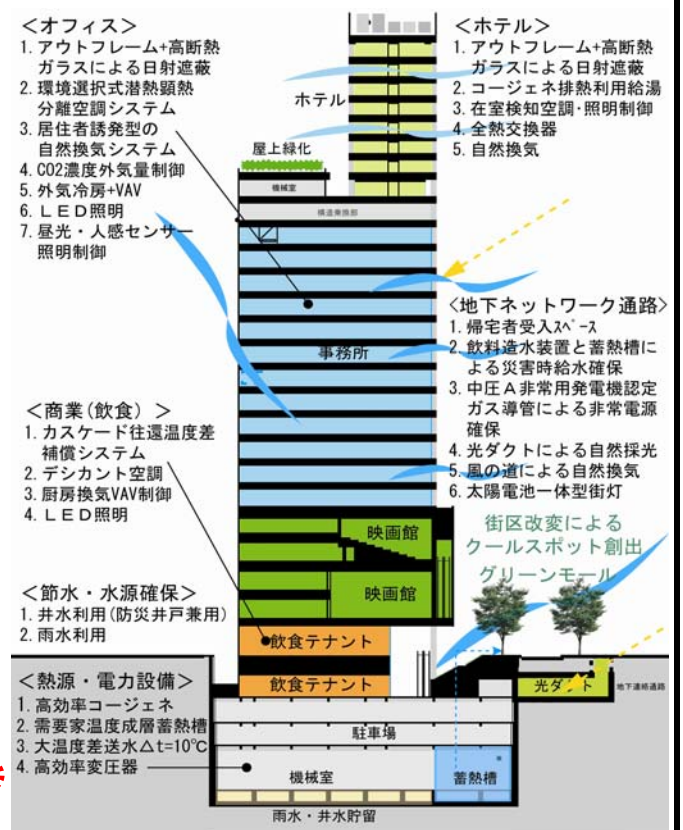


図2 地域環境インパクト低減型建築の構築